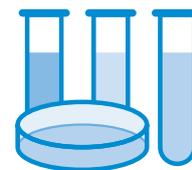


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

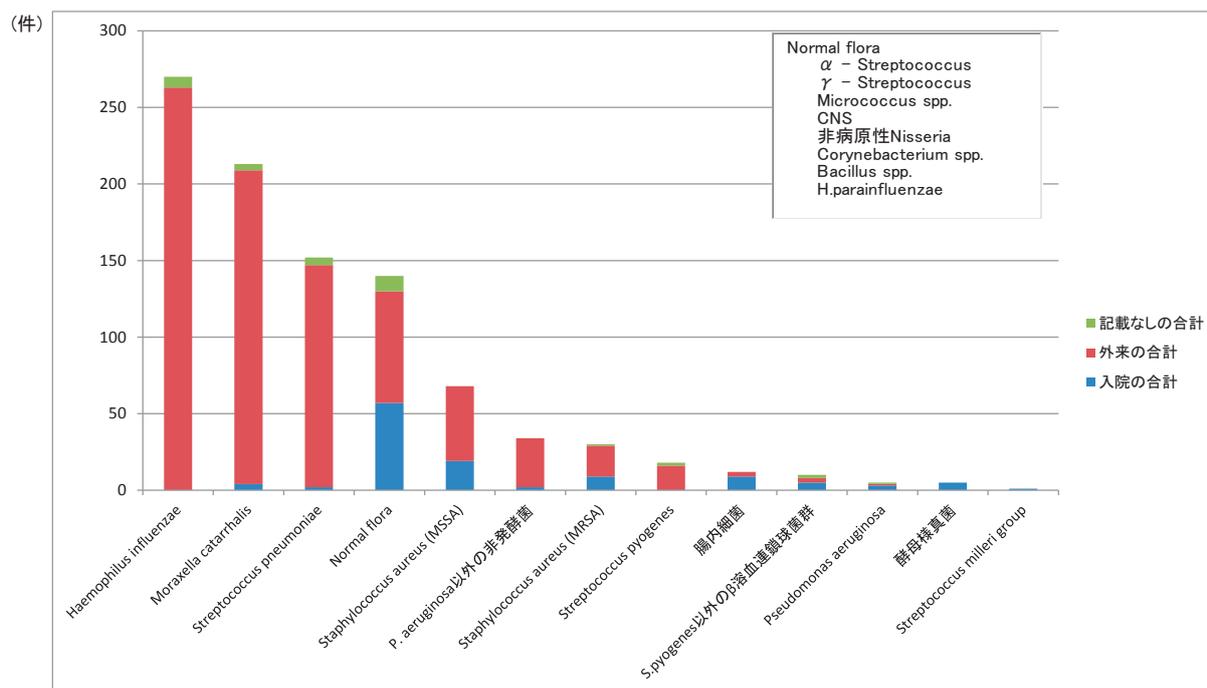


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況と、*Haemophilus influenzae* の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2020年02月



Haemophilus influenzae は通性嫌気性のグラム陰性小桿菌で、小児における細菌性髄膜炎、敗血症、急性喉頭蓋炎、骨髄炎、関節炎などの起炎菌として重要な菌です。

健常者では上気道に常在していることもありますが、慢性気道感染症の急性増悪の原因菌となり、肺炎を起こす可能性があります。

【*Haemophilus influenzae* 薬剤感受性情報】

2020年2月分

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	ABPC	ビクシリン	25	33	42
	AMPC	サワシリン	28	23	49
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CTRX	ロセフィン	100	0	0
	CAZ	モダシム	100	0	0
	CZOP	ファーストシム	22	0	78
	CFPM	マキシピーム	94	0	6
	FMOX	フルマリム	22	0	78
	セフェム系経口薬	CPDX	ハナシム	55	0
CFDN		セフゾシム	36	0	64
CFPN		フロモックス	60	0	40
CDTR		メリアクト	100	0	0
CFTM		トミロン	100	0	0
カルバペネム系	IPM	チエナム	96	0	4
	MEPM	メロペン	96	0	4
	DRPM	フィニバックス	83	0	17
	TBPM	オラベネム	98	0	2
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	45	0	55
	ACV	オーグメンチン	67	0	33
	STC	ユナシム	17	11	72
マクロライド系	CAM	クラリス	88	8	4
	AZM	ジスロマック	97	0	3
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシム	100	0	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	99	0	1
	TFLX	オセックス	97	2	1
	GRNX	ジェニナック	96	0	4
	ST	バクタ	83	6	11

【薬剤耐性菌分離状況】

2020年2月分

耐性菌名	呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
	耐性率 (%)	件数	耐性率 (%)	件数						
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)	20%	59	0%	0	0%	0	0%	0	10%	2
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)	6%	17	0%	0	0%	0	0%	0	10%	2
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性 H.influenzae)	2%	7	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

Haemophilus influenzae は一般的にアンピシリン (ABPC)、第三世代セファロスポリン系薬、ニューキノロン系薬に感性とされていますが、近年アンピシリン耐性菌が増加しています。アンピシリン耐性菌は BLNAR、BLPAR、BLPACR に分類され、この中でも BLNAR が呼吸器系材料から多く検出されています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧いただけます。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係